

■ 全体講評

今回の公開模試 AP 午後の問題は、全体として難易度は例年並みと見受けられます。今回の模試を力試しだったという位置づけでとらえ、成績が芳しくなかったとしても点数にとらわれることなく、できなかったところをきちんと理解し、身につけるようにしましょう。

AP の午後試験は、記述式の問題形式で、テクノロジ系、ストラテジ系、マネジメント系、組込みシステム系の問題で構成される全 11 問のうち 5 問を選択解答する形式です。問 1 のセキュリティ分野の問題は必須ですので、残りの 10 問から 4 問を選択することになります。この 11 問から 5 問をいかに的確に選択するか（厳密には問 1 以外の 10 問から 4 問の選択です）が、午後試験を突破するためには重要です。問題選択後、解答用紙に選択問題を記す必要があるわけですが、今回の公開模擬試験においては、きちんと選択問題を明示していない人（問 2 から問 11 までのうちの選択の丸が 4 問未満だったり 5 問以上だったりする）、丸を付ける欄を間違えている人（番号の横に丸を付けるなど）が見られました。このような解答要領違反は、解答以前の問題なのでくれぐれも注意しましょう。場合によっては採点してもらえないこともありえますので、問題の指示に従って確実に問題を選択してください。

AP 午後試験では、問題の分野が多岐に渡ります。解答に際しては、時間配分に注意が必要です。併せて、どの問題を選択するかは十分に対策を考えておかなければなりません。自分自身が普段従事している業務の特質や業務経験などから、アルゴリズムやデータベースを苦手としている人がいます。また、ストラテジ系やマネジメント系が得意であるという人もいます。選択する問題の分野を広く考えておいて、試験本番に問題を見てから選択する問題を決定することも選択方法として有効です。どの問題を選択するかが合否に大きく関わりますので、よく考えて自身の問題選択を行うよう意識してください。選ぶべき問題の分野は、あらかじめしっかりと学習しておく必要があります。特に知識問題に対して前提の知識が欠落していると苦戦しますので、学習していない分野の問題を慌てて選択することがないようにしましょう。今回の問題では選択された問題は比較的均等に分散されています。

解答方法の全体的な注意点として、問題文や設問文をよく読むことが挙げられます。解答のヒントや解答そのものを書いてある場合がありますし、解答表現の方向性を示していることもありえますので、それを

無視した独りよがりの解答をしないよう十分な注意が必要です。プロフェッショナルでない俗っぽい表現を用いないように注意することも必要です。

最近ではストラテジ系・マネジメント系の問題が選択される傾向が強くなっています。特に、ストラテジ系・マネジメント系の問題は、問題文の文脈に沿って解答根拠を把握した上で解答しなければならない傾向が強く、解答表現には細心の注意が必要です。テクノロジ系はキーワードをしっかりと押さえることが重要になります。なお、漢字の間違いや略字、問題文や設問文の指示に対する違反解答が見られています。これは、問題点を答えるのか、課題を答えるのか、原因・理由を答えるのかなど表現のプロトコルに注意しましょう。また、どれかが正解の筋に引っかかっているだろうと考え、様々な筋の解答要素を欲張って併記している解答もかなり見られています。このような解答は採点者の心証が悪い上に、正解要素の説明が不十分になり、効果的でないので避けるべきだと言えます。なお、指定の字数に対して極端に字数が少ない解答も説明不十分とみなされ、減点あるいは誤りとされることもありますので、注意して取り組みましょう。

また、解答の字が薄く読みにくい人がかなりいました。最近では手が汚れないように薄く硬い鉛筆・芯が用いられることが多くなっています。しかし、採点者の印象が違ってきますので、できるだけ解答は濃くはつきりと書くようにしましょう。乱雑に書きなぐったような解答も散見されています。字の巧拙ではなく、濃く書くこと、メリハリのある字を書くことが重要です。なお、ボールペンや万年筆を使用している人も見られます。間違い訂正が汚くなりますので、濃い鉛筆やシャープペンシルを使用しましょう。字は止めやはねをしっかりと書き、くっつけるべきところはきちんとくっつけましょう。正しい解答にも関わらず、読めないために得点をもらえないことにもなりかねないので注意しましょう。

最後まで粘り強く、「絶対に今回の試験で合格する」という意志をもって、日常の学習及び試験に臨んでください。

<午後>

問1 アクセス管理の見直し

【採点基準】

[設問 1]

(1) 解答例どおりのみ 3 点。

(2) 解答例どおりのみ 2 点。

[設問 2]

(1)a: 解答例どおりのみ 3 点。

(2)b: 解答例どおりのみ 2 点。理由: 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 2 点。

[設問 3]

(1)c, d: 解答例どおりで完答 3 点。

(2)e: 解答例どおりのみ 2 点。

(3)f: 解答例どおりのみ 3 点。

【講評】

アクセス管理についての問題でした。認証強度や認証方式などの技術的な知識や理解が求められます。記述での解答箇所については、解答要点が定まらない、設問要求に適切に対応していない解答が見られています。要領良く解答するよう心がけましょう。

設問 1 は、用語に関する記述と選択問題でした。別解はありません。(1)「辞書型攻撃」「辞書式攻撃」は半分の得点にしました。

設問 2 は記述問題でした。表記に注意してください。余計なことは書かないこと。理由は、表現が曖昧な場合、半分の得点にしました。

設問 3(1)は完答のみ正解です。(3)は問題文の文脈を押さえた表現が望まれます。表現が曖昧な場合、半分の得点としています。

問2 ブランド戦略

【採点基準】

[設問 1]

a: 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 2 点。

[設問 2]

解答例どおりのみ 2 点。

[設問 3]

(1) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

(2)b: 解答例どおりのみ 2 点。

[設問 4]

(1) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

(2) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

(3) 解答例どおりのみ 2 点。

(4) 解答例どおりのみ 3 点。

【講評】

ブランド戦略に関する問題でした。経営管理やマーケティングの側面に焦点を当てて取り上げています。

記述が多く、計算もある悩ましい問題だったと思われます。LTV の計算に馴染みがないと難しかったかもしれません。出来不出来の差が人によって大きいように思われます。

設問 1 は、ブランドに関連する穴埋め問題でした。「会社名」「社名」でも正解です。なお「企業理念」という解答が多かったのですが、社名に理念が見えるとは言いきれないので正解にしませんでした。文脈をよく考えて解答しましょう。

設問 2 は選択式ですが、用語の問題です。関連の用語も含めて意味を再確認しておきましょう。消去法でも解けるので、比較的正答率が高かったです。

設問 3 は、きちんと表現できていなかったようです。正答率は高くありません。「価格競争が難しい」ことをしっかり押さえましょう。

設問 4 の(1)(2)は、解答要点をしっかり押さえましょう。表現の曖昧な解答が散見されています。(4)は桁間違いの答えがかなり見受けられました。慎重に計算しましょう。

問3 タイルの配置を決定するプログラム

【採点基準】

[設問 1]

(1) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 2 点。

(2)ア: 解答例どおりのみ 2 点。イ: 解答例どおりのみ 1 点。

(3)ウ: 解答例どおりのみ 2 点。

[設問 2]

エ～キ: 解答例どおりのみ各 2 点。ク: 1 点

[設問 3]

(1) 解答例どおりのみ 2 点。

(2) 解答例どおりのみ 2 点。

【講評】

タイルの配置、N クイーン問題のアルゴリズムを題材にした問題です。定番である、結果のトレース、プログラムの穴埋めといったお馴染みの出題でした。

内容に馴染みがあるかないかで有利不利となりますが、馴染みがない場合でも、問題文の誘導に従い、適切に考えて解答することは可能です。不慣れな分野のプログラム、アルゴリズムの問題であっても、いったん選択した限り、最後まで粘り強く解答することが必要です。本問はドメインに慣れているかどうか、数学的素養があるかが重要でしたが、比較的正答率が高か

ったです。

設問 1(1)は、利き筋についての判定、配列の説明をします。要領良く表現して解答をまとめる必要があります。論理的に通じる説明に苦慮している解答が散見されています。表現が曖昧だと半分の得点としました。(2)は、数理的な表記を解答します。「 $2 \times N - 1$ 」は正しいのですが、掛ける演算子についてはここでは不明であり、あくまで「 \times 」は文章上の表現なので半分減点としました。(3)添字の各項は順不同です。

設問 2 は、他の記述部分に倣って適切に表現し解答します。総じて、解答表現に関しては、くれぐれも、その場面での表現、定義にのっとって表現することを心がけてください。特に、この局面で定義されていない文法を突然使ってしまった解答が見られています。表記ミス、転記ミスの誤りがないよう注意しましょう。

設問 3 はトレースと計算回数の考察問題でした。正しく認識することが大切です。(1)は比較的正答率が高かったです。(2)は正答率が低かったです。できなかった人は、よく復習し正しく理解しましょう。

問4 テーマパークの混雑情報提供システムの機能追加

【採点基準】

[設問 1]

(1)a, b: 解答例どおりのみ各 1 点。

(2)(a)~(d): 解答例どおりのみ各 1 点。

[設問 2]

(1) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 2.5 点。

(2) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 2.5 点。

[設問 3]

(1) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3.5 点。

(2)(a): 解答例どおりのみ 2 点。(b): 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3.5 点。

【講評】

テーマパークの混雑情報提供システムを題材にしたシステムアーキテクチャの問題でした。システムの概要や利用条件などについて読み取り解答します。この分野の問題では計算問題が主流ですが、今回は記述問題も多かったです。解答表現が稚拙で、大きく失点する人が散見されています。要領良く適切に表現しましょう。

設問 1 は、待ち行列に関する問題でした。計算も典

型的だったと思います。問題文の文脈表現に注意して解答します。比較的正答率が高かったです。

設問 2 は、解答表現をまとめることに留意してください。解答のピントがずれていると、正しくても正解とならないので注意しましょう。

設問 3(1)は「Web サーバ 1 にアクセスが集中したため」としっかり解答しましょう。(2)a は「最少」という誤った記述の場合は半分の得点にしました。正確に表現しましょう。b は比較的正答率が高かったです。

問5 ネットワーク環境の再設計

【採点基準】

[設問 1]

解答例どおりのみ 2 点。

[設問 2]

a~c: 解答例どおりのみ各 1 点。

[設問 3]

d, e: 解答例どおりのみ各 2 点。

[設問 4]

解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 6 点。

[設問 5]

機器: 解答例どおりのみ 2 点(完答)。

理由: 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

【講評】

ネットワークのアドレス設計に関するネットワーク分野の問題でした。セキュリティ分野の知識を前提に、的確な解答表現が求められる問題でした。ネットワークに関する正確な基本的知識をもっている人とそうでない人との差が得点率にはっきり表れているように思われます。選択した人は比較的少なかったようです。

設問 1 は、正答率が高くなかったです。デフォルトゲートウェイに着目して正解にたどり着くことが大切です。

設問 2 は、アドレス構造の知識を基にして解答します。比較的正答率が高かったです。

設問 3 は、ネットワークセグメント採番の条件を整理して解答します。想定よりも正答率が高くないように見受けられます。

設問 4 は、適切な記述で解答することが難しく得点を伸ばせませんでした。第 3 オクテット、第 4 オクテットの状況を押さえて表現する必要があります。

設問 5 は追加設計の設問でしたが、機器については完答で正解としましたので、正答率は低かったです。ルータ 2 がデフォルトゲートウェイであることをしっ

かり把握しましょう。理由については適切な表現に注意しましょう。

問6 研修管理システムのデータベース設計

【採点基準】

[設問 1]

a～d: 解答例どおりのみ各 1 点。

[設問 2]

(1)e～i: 解答例どおりのみ各 1 点。

(2)j～m: 解答例どおりのみ各 1 点。

[設問 3]

(1)n～q: 解答例どおりのみ各 1 点。

(2) 解答例どおりのみ各 1 点。

(3)r: 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 1 点。

【講評】

研修管理システムを題材にしたデータベース設計に関する問題でした。E-R 図や SQL 文、設計追加などについて出題されています。SQL の文法などについて学習不十分と思われる答案も散見されています。十分な学習を基にこの問題を選択するのが望ましいといえます。

設問 1 は E-R 図のリレーションシップやテーブルに格納する列名を解答する設問でした。凡例に倣うということが不十分だったり、キーの線が漏れていたりする解答が散見されています。d は、下線が漏れている場合、×としました。

設問 2 は、参照制約に関する設問でした。人によって出来不出来の差が大きいように見受けられます。

設問 3 は、SQL の記述や設計追加に関する設問でした。集計や JOIN 句に関するものでしたが、想像以上に正答率が高かったです。どの表のどの項目かを正確に押さえて解答します。(2)は、テーブルとエンティティを混同している解答がありました。注意しましょう。(3)は更新時のチェック内容の記述でしたが、比較的正答率が高かったです。

問7 IoT や AI を利用したショッピングカートシステム

【採点基準】

[設問 1]

(1)a, b: 解答例どおりのみ各 2 点。

(2) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 2 点。

[設問 2]

(1)c, d: 解答例どおりのみ各 2 点。

(2) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

[設問 3]

解答例どおりのみ 4 点。

[設問 4]

解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 3 点。

【講評】

組込みシステムの開発に関する問題です。典型的な組込みシステムの問題ですが、出来不出来の差が見られているようです。なお、設問 2(2)と設問 4 は解答要点を押さえて解答するのが難しく、正答率は高くなかったです。

設問 1 は、システム仕様の穴埋め設問でした。問題の記述を受けて、適切な解答表現を行うよう注意してください。原則、解答例と一致した解答のみ正解としています。

設問 2(1)は、制御部の処理に関する設問でした。問題文中の表現を正しく理解して解答します。(2)は「商品かごに商品を入れるというタイミング」をしっかりと押さえて解答してください。

設問 3 は、ビットとバイトの変換を忘れずに計算しなければなりません。この点が不備で計算間違いが目立ちました。

設問 4 は、適切な解答表現が求められます。この分野の記述問題では、状態や動作のメカニズムを正確にとらえて解析し、正確に解答表現する必要があります。この点で減点や誤りとされることのないように注意しましょう。

問8 テスト駆動型開発

【採点基準】

[設問 1]

(1)a～c: 解答例どおりのみ各 1 点。

(2) 解答例どおりのみ 2 点。

[設問 2]

(1)d～i: 解答例どおりのみ各 1 点。

(2) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。

[設問 3]

(1)j: 解答例どおりのみ 1 点。

(2) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。

【講評】

テスト駆動型開発に関する問題でした。開発手法や

テスト設計、これらに基づく作業に慣れている人にとっては取り組みやすかったと思われます。問題文の記述に準拠して解答する必要があります。記述問題については、比較的正答率が高かったです。

設問 1 はこのドメインの知識を基にして解答する設問でした。比較的正答率が高かったです。

設問 2 はテストデータの設計に関する設問でした。e の「3 の倍数」は正答率が低かったです。(2)は「^{ひらぶん}平文の穴埋めでだけ使用すること」をしっかりと押さえて解答します。この点が散漫な解答が多かったです。

設問 3 は、カバレッジに関する設問でした。(2)は、「実行されなかったコードを特定する」ことが要点で、このことを適切に解答する必要があります。

問9 コールセンターの新システム導入プロジェクト

【採点基準】

[設問 1]

解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し3点。

[設問 2]

解答例どおりのみ2点。

[設問 3]

解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し3点。

[設問 4]

解答例どおりのみ2点。

[設問 5]

下線③: 解答例どおりのみ各1点。誤答が含まれれば0点。

下線④: 解答例どおりのみ1点。

[設問 6]

(1) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し3点。

(2) a, b: 解答例どおりのみ各2点。

【講評】

コールセンターの新システム導入プロジェクトに関する設問でした。用語の問題が多く、知識が不十分な人は苦戦したようです。計算問題も記述問題もあり、バラエティに富んだ内容になっていますが、記述問題は、問題文の文脈に沿って考えれば解答はそれほど難しくありませんでした。ただし、解答記述は、要点を含めて表現する必要があります。問題文の要点を押さえきれないと得点が伸びません。この問題も人によって出来不出来の差が表れているように感じます。

設問 1 は、「自動化」「IT 活用」を押さえて正解にしましたが、表現の曖昧な、散漫な解答が目立ちました。

設問 2 は、根拠を明確にして解答を絞る必要がありました。比較的正答率は低かったです。

設問 3 は、問題文の記述をきちんと押さえて解答します。正答率は高かったように思います。

設問 4 は、典型的な計算問題でした。想定以上に正答率が高かったと思います。

設問 5 は、誤答を含んだ解答が目立ちました。リスクの対応を確実にすることが求められました。

設問 6(1)は、具体的な対応の確認をしっかりと解答したいです。曖昧な解答が散見されました。

問10 社屋移転に伴うシステムの移行

【採点基準】

[設問 1]

(1) a, b: 解答例どおりのみ各2点。

(2) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し3点。

[設問 2]

(1) c: 解答例どおりのみ2点。

(2) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し4点。

[設問 3]

(1) d: 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し3点。

(2) 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し4点。

【講評】

社屋移転に伴うシステム移行に関する設問です。記述解答では、解答しにくいところがあり、勘違いや表現不足の解答が見られています。注意して取り組みましょう。模範解答どおりの解答はほとんど見られず、趣旨が同等と思われるものは正解としました。三角として半分の点数を与えた解答も多く見られています。厳密には模範解答の解説を十分に理解してください。総じて正答率が高かったように見受けられます。

設問 1(1)は、字句を選択して解答する設問です。選択式ですので別解はありません。(2)は、解答要点を押さえて解答します。要点の表現が曖昧だと半分の得点としています。

設問 2(1)は、確実に解答要点を押さえる必要があります。リスク対策をしっかりと解答しましょう。(2)は「リスクへの準備が何か」が解答のキーになります。この点を押さえれば正解としました。

設問 3(1)は、チェック項目を押さえて字句を解答します。(2)も該当するチェック項目をしっかりとらえて

解答します。表現の曖昧な回答が目立ちました。

記述解答は、解答が散逸している傾向があります。問題文の記述に十分着目し、準拠して考察して解答することが望まれます。総じて、何をどう解答すればよいか、戸惑った人が多かったものと思われます。

問 11 システム運用業務の監査

【採点基準】

[設問 1]

a: 解答例どおりのみ 3 点。

[設問 2]

(1)b: 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 4 点。

(2)c~f: 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し各 2 点。

(3)g: 解答例同様の趣旨が適切に指摘されているものに対し 5 点。

【講評】

中堅のスポーツ用品製造会社を題材としたシステム運用業務の監査の問題でした。開発業務と運用業務の分離、それぞれに必要なコントロールを検討する必要があります。比較的取り組みやすかった問題だと思います。ただし、この分野の問題を選択する場合、前提となる監査知識をしっかりと学習しておくことが望ましいです。

設問 1 は、穴埋めの設問です。システム管理基準の記載がキーとなります。比較的正答率が高かったです。

設問 2 は適切な解答表現が求められます。特に(3)では、監査証拠と手続を明記して解答します。表現が曖昧だと半分の得点にしました。手順書に反映するのは監査人ではなく当事者の行動であり、監査人は確認する立場にあります。「反映する」という表現は当事者のものであり、こういう記述で解答する人は、「監査が何たるか全く理解できていない」とみなされてしまいます。十分な理解が求められます。

なお、例年、問 11 は、システム監査関連の知識の多少に関わらず選択している人が少なからず存在します。ただし、ほとんど適切に解答できない人も今回は見受けられました。比較的解答しやすかった問題だと思われそうですが、この分野の問題を選択する可能性がある場合は、基本的な監査知識は必ず身につけておくようにしてください。安易に選択することは慎みましょう。

以上